

抄 録

ヒラメ天然魚における無眼側体色異常の パターンと出現頻度

富山 毅・水野拓治*・渡邊昌人**・藤田恒雄*・川田 暁

Patterns and Frequency of Hypermelanosis on the Blind Side in Wild Japanese Flounder

Takeshi TOMIYAMA, Takuji MIZUNO*, Masato WATANABE**,
Tsuneo FUJITA* and Gyou KAWATA

日本水産学会誌 74 (2), 167-172 (2008)

ヒラメ人工放流魚の特徴として知られる無眼側体色異常は、天然魚でも生ずる場合がある。福島県の 4 つの市場において水揚げされたヒラメ天然魚について、体色異常状況をのべ 54 回調査した。観察した天然魚 10,970 尾のうち、体色異常を呈したものは 130 尾、そのうち市場で放流魚として扱われたものは 29 尾であった。特に、尾部付近や胸鰭付近に黒化部分が生ずる場合が多かった。これらの天然魚を放流魚と区別するには、天然魚に生ずる体色異常の特徴の把握と背鰭鰭条数の計数が有効であった。

* 福島県水産課

** 福島県内水面水産試験場